



# すなわが

自然となかよく  
「木工工作」  
工夫いろいろ

子どもフェスティバル

元気いっぱい  
とことんあそびました。



苅田町青少年育成町民会議では、子どもフェスティバルに“もみじ学舎”の方を講師として、物作り教室をしました。

手作りのものには、愛着があります。参加者の皆さんは、創造を張り巡らせ、思い思いに作品を完成させていました。

バックボードには、「家庭の日」・「オアシス運動」の入選作品を展示しました。(関連記事P 4)

11月は全国青少年健全育成強調月間です!!



# 全国一の「安全で安心できるまち」をめざして

「小さなことから始めよう」をスローガンとして始まった「安全安心まちづくり」が、地区ごと・団体・グループごとにいくつもの“パトロール隊”ができ「自らのことは自ら守る」という大きな力が生まれたこと。そして「安全安心まちづくり」活動が大きな成果をあげ、地域ごとに定着し、パトロール隊が数多く発足し、多くの住民を巻き込みながらこれからも努めていきたいと心強い言葉で締めくくられ、研修は終了しました。

荻田町青少年育成町民会議  
補導環境部会は、10月20日柳川市役所「安全で安心できるまちづくり推進協議会」を訪問しました。

柳川市（旧柳川市、三橋町、

柳川市役所の  
防災安全係に聞く

「小さなことから始めよう」

大和町）では、平成4年から14年までの十年間で犯罪が約2倍、交通事故が約1.4倍といずれも増加傾向にありました。災害も一度発生すれば被害が甚大になることから、このことに地域

▼柳川市役所にて



を挙げて抑止し、安全で安心できる柳川を実現するために平成15年6月住民・行政・警察・消防等関係機関、団体などが協議し「柳川、三橋、大和 安全で安心できるまちづくり推進協議会」を設立しました。そして、安全、安心活動を自主的に行なっているグループに腕章や夜光チョッキなどを貸与し、活動の支援をしています。

## 具体的な取り組みについて

- ①公営駐輪場に防犯カメラを整備
- ②出会い頭事故防止のためのカーブミラー設置
  - ・狭路での出会い頭事故防止のため、一回り小さな低コストのカーブミラーを団体等から寄贈を受け、住民ボランティアの皆さんで取り付けをする。
- ③安全安心まちづくり腕章を効果的に活用
  - ・地域の安全安心活動に従事する団体などに貸与し「腕章を着けている人は柳川の安全を守る人」と広く認知されている。
- ④毎月の活動を紹介する広報誌「安全安心通信」を毎月一回全世帯に配布
- ⑤少年補導員による定期的な一斉違反広告物除去活動を2ヶ月に一回の割合で実施
- ⑥青色回転灯の整備
  - ・住民による自主防犯パトロールにおいて青色灯を装着した自動車を実施。
- ⑦「安心安全のまち柳川」ステッカー
  - ・公用車、消防車、警察車両、郵便局のバイク等で趣旨に賛同いただいた市民をはじめ、タクシー協会やトラック協会加盟の車輛にも貼付している。
- ⑧子どもを守る取り組み
  - ・地域をあげて子どもを守る活動は全国的に広まりつつあるが、当協議会に賛同する様々な団体の皆様がパトロール活動に加わってきている。
- ⑨校區別に様々なパトロール隊が結成され防犯活動に努めている。
  - ・＜例＞登下校時、児童保護誘導活動・安全指導 要注意地区などのパトロール、防犯パトロール等

	犯 罪	交通事故	火 災
14年度	1,423	2,429	27
16年度	980	2,114	26
増 減	31%↓	13%↓	4%↓

▲柳川市の犯罪等の件数

目標としては、犯罪・交通事故・火災の件数を平成14年の3分の2まで減らすという期限設定で活動してきましたが、結果として（上記表参考）平成17年に連続放火による火災が発生しましたが、それを除けば、目標値に近い数値であったと話していました。

以上、2年半の短い活動ではありましたが犯罪発生数の減少など大きな成果をあげることが出来たと評価をしていました。

犯罪発生数の減少に大きな成果



## 朝の声かけ運動

荻田町青少年育成町民会議では、10月17日（荻田中校区）、24日（新津中校区）にいじめ防止強調月間並びにオアシス運動の一環として、児童生徒の登校時間を対象に朝の声かけ運動を実施しました。



元気よく登校してくる子どもたちから率先して「おはようございます。」と声をかけてくる子。また、役員から声をかけてもうつむいたまま通り過ぎる子。様々ですが、子どもたち皆が元気で活発になれるようにこれからもあいさつ運動を続けていきたいと、思います。

## 青少年健全育成講演会開催

9月29日、中央公民館第5研修室において福岡教育大学名誉教授の横山正幸先生の講演会を開催いたしました。演題は「地域のこどもは地域で守り育てる運動」でした。

笑顔の輝く、心のたくましい子を育てるために、地域として次のことについて心がけたらどうでしょうか。

①まず、親が子どもの生活リズムの重要性を認識し、子ども達の睡眠時間が適正なものとなるようにすることが大切です。そのためには、テレビ・ビデオ・テレビゲームとの接触を少しコントロールすることが望まれます。

②夜遅く外に出ている子ども達には、早く帰ってくるよう声をかけましょう。（できれば夜遅くなる塾通いは控えたいものです。）また、深夜営業している店などにもこの点について地域として協力を求める必要があります。

③日頃から子ども達が大量の仲間と外で活動的な遊びができるようにしましょう。また、週末など時間のある時は遠出などせず、近くの公園や原っぱなどで過ごさせるようにしたいものです。

④年齢に応じ、家庭ではお手伝い・役割体験・勤労体験の機会を積極的につくりましょう。

## 子どもたちを見守る「抑止力」



荻田町が福岡県より非行防止プロジェクト事業のモデル地区に指定されたことから非行防止活動を町民活動として取り組むために9月1日「荻田町非行防止推進協議会が発足されました。この協議会は、町長を会長に行橋警察署、町内各種団体等、多くの皆様方のご協力を得て、荻田町の少年非行防止のための様々な活動を行なっていく予定です。

## 青色パトロールカー出発式



▲各種団体の方々

活動の一環として、すでに青色回転灯を装着した青色パトロールカーが毎日巡回しております。特に第3水曜日には、児童の下校時間に併せ、荻田町青少年育成町民会議の委員も同乗し「不審者」から子どもを守るために活動を行なっております。

これからは、行政、協議会会員も一緒になって、児童・生徒の登下校時や夜間、さらに通学路やコンビニ、ビデオ店、公園などを巡回する活動を予定しております。

⑤安易にお菓子、飲物、おもちゃ、物を与えないようにしましょう。親はもちろん、地域の人々みんなが消費生活のあり方を少し見直したいものです。

⑥社会のルールや人として大事なことについては地域の人達も折に触れ、積極的に教えてやるようにしましょう。また、大人も普段から子どもの良きモデルとなるような生活態度を心がけるようにしたいものです。

⑦子どものちょっとした良さや伸びなどを積極的にほめたり、認めてやるようにしましょう。

## 「荻田町非行防止推進協議会」が発足

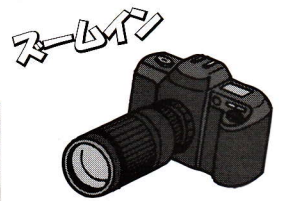


## 第6回子どもフェスティバル

日時：2006.10.22 場所：荻田町立中央公民館（全館）



←発足40周年記念の巨細巻寿司(40m)米は、“まるっと農園”の新米です。おいしいかぎりです。



←荻田工業生による“サッカーロボット&クラブト”



←“お化けの館”結構こわい



←“はっちゃれ劇団”による白雪姫公演。こびとがかわいい!!

「元気に育て!」と願いを込めて「いっしょにあそぼう!」「いっしょにつくろう!」のテーマで開催することが出来ました。中央公民館に2,000人余が入場しました。たくさん子どもたちの笑顔と好奇心の表情に、何となく豊かな心をいただき、また新しい一歩を踏み出した気分になりました。

“子どもたちよ、ありがとう!!…。子どもたちよ、もっともっと元気で育ってください。”

荻田町子ども会育成連合会 会長 田口朝子



### バア～バアの一言



日本昔ばなしは、なぜ?「おじいさん、おばあさん」から始まり、子どもが現れ、悪を退治して…「おじいさん、おばあさんと幸せにしました。」…となっているのでしょうか。お父さん、お母さんでも良いのではないのでしょうか。うーん…おとうさん、おかあさんでは、現実味がありすぎてしまうのかな。夢と希望を与えるなら、孫たちへ未来を託す思いでおじいさん、おばあさんが「昔、昔そのむかし…」と語りながら<人生の道しるべ>や<道徳>などを教えていたのかなと思います。

今日、生活が多様化になり、個人主義、利己主義の大人が多くなり、人と人との関わりを避けるような社会に思われます。今一番、子どもたちに大切な栄養素の人と人との関わり…ナシ。つまり社会性に欠ける傾向にあります。

一つの家子どもたちがいて、おじいさん、おばあさん、お父さん、お母さん、あるいは、小姑などの大家族が住んでいた昔は、子どもたちに関わる人がたくさんいて、いろいろな話をしていたでしょう。現在は、核家族化・少子化で子どもたちに何人関わる事ができるでしょうか? そのためには、地域参加がないと子どもたちは、大事な発達栄養素が求められません。

バア～バアは、思います。今一度たくさんのおせっかいばあさんマン・おせっかいじいさんマンが現れないかな。そして、いろいろな話をしてほしいです。

バア～バアにも孫がいます。ママに叱られて泣いている孫を慰めながら、「これからの人生いろいろあるだろうな」と想像して、ぎゅっと抱きしめてしまうのです。

### “街の散策”「フィールドビンゴ」でウキ!ウキ!

身近なところで答えが見つかるよ。

第6回荻田町スポーツレクリエーション祭の一環として“街の散策”「フィールドビンゴでウキ!ウキ!」を10月7日(土)に開催しました。親子・友だちで、こま地図を頼りにコースを進みながらチェックポイントを探しだし、クイズやゲームに挑戦していくというゲームです。

この大会は「街を散策しながら商店街の新たな発見をしよう」とのことで行ないました。当日は、晴天に恵まれ、多くの皆様方にご参加をいただきました。



荻田町商業協同組合の方々、ご協力ありがとうございました。成績は、次の通りです。

- ★かめⅠコース
  - 1位：シグマチーム
  - 2位：おからチーム
  - 3位：おまつりチーム
- ★かめⅡコース
  - 1位：インリーダーチーム
  - 2位：スターキッズチーム
  - 3位：港子ども会 愛風会
- ★うさぎコース
  - 1位：めざせNo.1チーム
  - 2位：山下ファミリーチーム
  - 3位：ムシキング親子チーム

感想…悪戦苦闘しました。普段気づかない街の様子がわかりました。フウ…。



# 荏田中学校

「以心伝心〜心ひとつ、  
歌声ひとつ」

荏田中学校では「以心伝心〜心ひとつ、声ひとつ」をスローガンに秋の文化祭が行われました。午前中はリコーダーアンサンブルとリード部の発表、合唱コンクール。午後はブラスバンドとフェスティバルが催されました。

合唱コンクールは、文化祭の中でも全校生徒が一番熱心に取り組むプログラムで、およそ1ヶ月間、昼休みや放課後を利用して練習に励みました。本番当日は各学級すばらしい合唱を披露することができました。特に、その中でもやはり3年生の歌声とハーモニーはすばらしく会場を魅了しました。

午後のフェスティバルでは生徒や先生がそれぞれ、特技や趣向を凝らした出し物で会場を盛り上げました。



「輝き〜和を深め、美しく〜」



# 新津中学校

今年で創立50周年を迎える新津中学校では「輝き〜和を深め、美しく〜」をテーマに秋の文化祭が行われました。午前中は合唱コンクールや吹奏楽部の演奏。午後は3年生のステージ発表が行われました。

1年生は生徒全員によってピカソの巨大な「ゲルニカ」を完成させました。2年生は今年、修学旅行で訪れる沖縄の自然や文化、歴史そして平和に関することを掲示物にまとめ展示しました。なかでも今年で最後の文化祭となる3年生の演劇は、熱のこもった演技に会場からは盛んな拍手が沸き起こりました。各学年のすばらしい取り組みにより、思い出に残る文化祭にすることができました。





「伸びよう・伸ばそう、  
青少年」を合言葉に  
国民会議より感謝状

昭和41年5月に発足した  
青少年育成国民運動が40周  
年を迎えるに当り、地域で  
地道に優れた活動を展開し  
ている青少年団体や青少年  
育成市町村民会議の役員な  
どに対して、顕彰が行なわ  
れました。

このことにより、苅田町  
青少年育成町民会議からは、  
4人の役員・委員に感謝状が  
贈られました。



授与された方々（右から）  
千原 勲氏（副会長） 羽廣正純氏（県民会議推進指導員）  
増田哲人氏（少年指導委員） 原田雄幸氏（補導環境部長）

## 平成 18 年度「家庭の日」「オアシス運動」コンクール入賞作品発表

この度は、たくさんのご応募をいただき、ありがとうございました。応募作品 616 点の中から  
入賞作品 122 点が決まりましたので、ご報告させていただきます。（敬称略、順不同）  
紙面の都合により作文は、次号に掲載いたします。



苅田中3年  
荒巻千春



苅田中1年  
野間奈緒美



与原小5年  
月脚菜々花



苅田小1年  
神原叶果



南原小2年  
久原勇馬



南原小4年  
末松万由子



南原小3年  
屏 侑我



苅田中3年  
嶋村あずさ

— 標語・ポスターの部 —

あいさつで 心と心 かよわせる  
ありがとう はずかしいけど いえたんだ  
あいさつは 絆をふかめる かけはしだ  
おはようの 笑顔であいさつ 朝の道  
「おはよう」と えがおといっしょに ごあいさつ  
あいさつは 笑顔あふれる 心の和  
あいさつは 心と心を つなぐ橋  
オアシスは 心をひらく ま法の言葉  
あいさつを すすんでしよう だれにでも  
ありがとう この一言が 宝物  
あいさつは 言われる前に 自分から  
明るいあいさつ みんなの笑顔で 町づくり  
ありがとう その一言が 笑顔生む  
言ってみよう 勇気を出してありがとう  
あいさつは 人の絆を 強くする  
傷ついた 心を救う 君の声

与原小5年 高津菜由  
与原小2年 坂中恵瑠  
白川小5年 森本修斗  
与原小6年 今田貴啓  
南原小1年 藤井菜々美  
与原小6年 藤富直将  
与原小5年 森下優里  
与原小5年 河野瑞智  
苅田小6年 村田大輝  
苅田中1年 高瀬真紀  
苅田中2年 廣瀬晶子  
新津中3年 福山知里  
苅田中1年 崎平真奈美  
苅田中1年 緒形かおり  
苅田中1年 吉永彩華  
新津中3年 横田恵利



苅田中2年  
菊原玲奈



苅田中3年  
中山温美



苅田中3年  
西村将人



苅田中2年  
廣瀬晶子



苅田中2年  
広瀬達也



苅田中2年  
西山友理



苅田中1年  
廣瀬理子



苅田中2年  
黒岩千紘



苅田中1年  
松田美穂

— 書道の部 —

編集・発行  
苅田町青少年育成町民会議  
すこやか編集委員会  
☎093・434・9838

1年生	苅田小	苅田小	馬場小	苅田小	南原小	馬場小	馬場小	与原小	与原小	与原小	白川小	南原小
	いもとあかり	ながたまゆ	後藤さくら	そだりゆうた	河野 駿	吉瀬礼菜	中村光晴	福山佳美	井本航南	上野 琴奈	かとうまなみ	成吉真沙
2年生	与原小	南原小	苅田小	与原小	与原小	南原小	馬場小	南原小	与原小	苅田小	馬場小	与原小
	安野里菜	堀川広大	西村まこ	丸山莉穂	中村円香	高城光希	井田瑞香	下門美里	羽広早姫	高尾瑞穂	河本文梨	内田ゆうき
3年生	南原小	南原小	与原小	苅田小	与原小	南原小	苅田小	苅田小	苅田小	馬場小	片島小	白川小
	千代丸昌樹	板谷孝幸	瀬川真緒	緒方ゆうだい	松下ゆき	松田彩花	村尾あずみ	田中湧弥	わたなべさゆか	小森真央	松本七海	井本美優
4年生	与原小	苅田小	与原小	苅田小	苅田小	南原小	南原小	与原小	馬場小	馬場小	白川小	片島小
	湯越 梓	藤田 凌平	中山 穂香	牧 夢人	青木 梨紗	上田 桃子	桑原 将志	古志 美菜実	末岡 瑞奈	村瀬 春祐	出口 杏奈	森友美
5年生	与原小	馬場小	苅田小	馬場小	苅田小	与原小	与原小	与原小	与原小	南原小	白川小	片島小
	中島 桃子	八田 美咲	渡部 楓	小田 夏希	白川裕太郎	寺田 拓海	中嶋 香月	千代丸彩夏	沖永 彩芽	門富 千歳	幸 智寛	狭間菜々
6年生	馬場小	南原小	南原小	苅田小	与原小	与原小	苅田小	馬場小	与原小	苅田小	片島小	白川小
	大塚仁美	千代丸祐実	高田奈々美	田熊朱理	三吉 爽希	大松 瑞希	川田 唯	川原 茜	今田 貴啓	椎野 剛史	武内 良輔	城戸明日香
中学生	苅田中1年	苅田中3年	苅田中2年	苅田中1年	苅田中3年	苅田中3年	苅田中2年	苅田中2年	新津中3年	新津中3年	新津中3年	新津中3年
	廣瀬理子	藤佳苗	廣瀬晶子	河津彩香	萬納寺美樹	荒巻千春	山内 卓子	安田暖美	福山知里	麦田和寿	塩澤花絵	